

講演会

気候変動の危機と日本の学校

—— 道徳と国語を巡る議論を読み直す ——

2022年8月20日(土)

14:00~16:00

京都大学吉田キャンパス
総合研究2号館
法科第一教室(北側2階)

高山 敬太 先生

京都大学大学院教育学研究科
グローバル教育展開オフィス教授・室長
専門は教育社会学、比較教育学。

カナダ、アメリカ、オーストラリアで20年間、日本の教育を外から研究してきた。2019年4月より現職。

地球温暖化、海洋酸性化、生物多様性の減少など、人類がもたらした様々な現象が、私たちの生活に影響を与え始めています。地球における人類の生存可能性すらも疑われ始めており、まさに「待たなし」の状況です。日本でも、SDGsの名のもと持続可能な社会を目指すことが社会的合意となり、学校教育においても新しい取り組みが推奨されています。確かに、これまでの教育実践の不十分さを認識して、新たなこと挑戦することは大切ですが、同時に一度立ち止まって、今までやってきたことを新しい視点から見直す作業も必要です。今回のお話では、エコロジカルな教育に関する英語圏の文献を概観して、大切と思われる視点や概念を簡単にご紹介します。そして、それらを一つの参照点として、日本の学校実践、とりわけ道徳と国語教育に関するここ数十年の議論を振り返ってみたいと思います。そうすることで、「あたりまえ」の日本の学校実践の今日的な意義を再確認できればと思います。

司会・コーディネーター

西岡加名恵(京都大学大学院教育学研究科教授)
石井 英真(京都大学大学院教育学研究科准教授)
奥村 好美(京都大学大学院教育学研究科准教授)

アクセス



お申込み方法

8月14日(日)までに右下のQRコード、または下記URLより申込フォームにアクセスしてお申込みください。但し、定員になり次第、締め切ります。

なお、同日午前より開催している第17回実践交流会にお申込みされているE.FORUM会員の方は、本講演会へのお申込みは不要です(実践交流会のプログラムの中に高山教授の講演会を含んでいます)。

お申込フォーム <https://forms.gle/YfehdrZN64uSyyxG7>

※定員 70名程度

問合せ 京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM 事務局
e-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

